

特別委員会報告

保障されていない。沖縄県宜野湾市議会の全議員が参加してオスプレイの配備に反対するデモ行進を行った。安全と暮らしを守るためのこのような行動は、当市も低空飛行訓練のグリーンルートのルート直下であり、全く他人事ではない。

また、政府の安全宣言は原発における安全神話となんら変わらず、国民のために十分に検証されたとは到底いいがたいものであり、原案に賛成し委員長報告に反対する。

賛成討論 オスプレイについては色々な事故があることは報道等を通じて知っており、また性能等についても、これまでの機種より数十倍優れている。オスプレイの安全性が国から認められ、初飛行の運転を行った。安全宣言された中であつては、飛行ルート等を含めて充分配慮し、国民を守っていただける、そういうものだと思っている。これから日本が安全な形の中で行くには、アメリカとの関わりなども大きな支えとしていかなければならない。全てがダメだという感覚はなく、国民の安全を最優先に考え原案に反対し委員長報告に賛成する。

東日本大震災調査特別委員会

当委員会では、8月9日、9月24日に開催いたしました。

8月9日の委員会では、胆沢牧野・JA岩手ふるさと方面と阿原山牧野・JA江刺方面の2班に別れ、除染の現地調査と畜産農家との意見交換を行いました。代替飼料の継続的供給や飼料の栄養成分表の公表、除染の自力施工単価などについて質疑が行われました。

9月24日の委員会では、



胆沢牧野の除染作業調査



阿原山牧野の除染作業調査

除染牧草・稲わらについて、廃用牛について、牧草地除染について、牧草の供給体制について、農産物被害への対応について、繁殖障害について、公共施設の除染作業の現状と今後の計画について及び災害弔慰金の申請状況について調査いたしました。

競馬事業調査特別委員会

9月24日の委員会では、「現在までの発売状況について」と「今後のレース開催予定について」を

調査しました。

岩手競馬の4月7日から8月19日までの発売額の計画達成率は岩手競馬発売で104・7%、広域受託発売で98・2%となっており、年間の収支見通しについても、第2期の発売実績が計画額を上回ったことなどから、当期利益を6600万円から7600万円に見直しを行うなど、好調に推移しています。10月からはJRAとの相互発売であるPAT発売の導入が予定されており、更なる発売体制の充実強化が期待されます。

用語解説

※PAT発売

JRAのインターネット投票会員(PAT会員)に対し、地方競馬の勝馬投票券の発売を行うこと。PAT会員に対する岩手競馬の発売は本年10月3日から。多くのJRAファンに岩手競馬を楽しんでいただくよう情報発信の強化が必要とされている。

行政視察報告

議会広報編集委員会

＊視察日：24年6月26日
～27日

＊視察先：山形県高島町
米沢新聞社

高島町議会広報特別委員会は定例会時の議会運営委員会終了後に招集し、「特集企画」や議案等の編集方針を協議し、担当委員と編集スケジュールを決定しております。発行まで6回委員会を開催するなど、積極的な委員の取り組みが見られました。特筆すべき点は「議員自らの手作りによる自主編集」で、レイアウトから原稿依頼、原稿作成、写真撮影に至るまで全て議員によるものでありました。印刷会社が変わったときには、業者の手法・力量、レイアウト力が違うため、編集委員が印刷会社に出向き、色の補正や編集に注文をつけるなど、熱心に校正しておりました。どうすれば多くの方に読んでもらえるのか、レイアウトの色使い、字間のスペースなど随所に工夫が感じられ、また

常に新しいものを取り入れるという姿勢は、当市においても参考となる事項でした。

米沢新聞社の研修は、プロの目から見た編集技術や広報作りのノウハウなどを取得し、当市議会だよりのクリニックを含め、今後の広報編集に役立てるために行ったものであります。

広報編集のポイントは、見出しを読むだけで、その内容をいかに読者に知らせることが大切であるため、「記事は見出しで読ませよ」でありました。また最後まで記事を読まないという結果が分らないものは、はじめから読まないということから「記事については結論を先に」ということが大切であるとのことでありました。議会報はもっと親しみやすく、簡単に分かりやすくするという気持ちを持って編集することが大切であると強く感じてまいりました。



高島町議会での視察